

地域の読書活動推進に貢献

絵本の会 おはなしはらっぱが
子どもの読書活動優秀実践文部科学大臣表彰



喜びいっぱいのおはなしはらっぱの皆さん

子どもたちに読み聞かせを行っているボランティアグループ「絵本の会 おはなしはらっぱ」(笹島久美会長)の皆さんが、2015年度子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体(個人)文部科学大臣表彰を受けました。表彰式は4月23日、東京都で行われた『子ども読書の日』記念「子どもの読書活動推進フォーラム」の席上で行われました。

表彰は、読書活動の推進に優れた取り組みを行っている学校や図書館、団体、個人を対象に2002年度から行われています。今年度は135の実践校、45の図書館、55の団体・個人を表彰。道内からは3校、2館、団体(個人)は同会と函館朗読奉仕会の2団体が表彰を受けました。

同会は1991年7月、子どもたちに本の素晴らしさを伝えたいと保育士や主婦などが集まって設立。図書館や小学校などでの読み聞かせ、古本市や絵本の寄贈、図書整理ボランティアなどの活動を行ってきました。図書館での読み聞かせは1千回以上を数えます。活動実績が認められ、2001年に北海道読書推進運動協議会表彰、2008年に北海道教育庁釧路教育局釧路管内教育実践表彰、2009年には全国優良読書グループ表彰を受賞しています。

会長の笹島さんは「子どもたちの笑顔が励みになっている。今後も続けていきたい」と話していました。

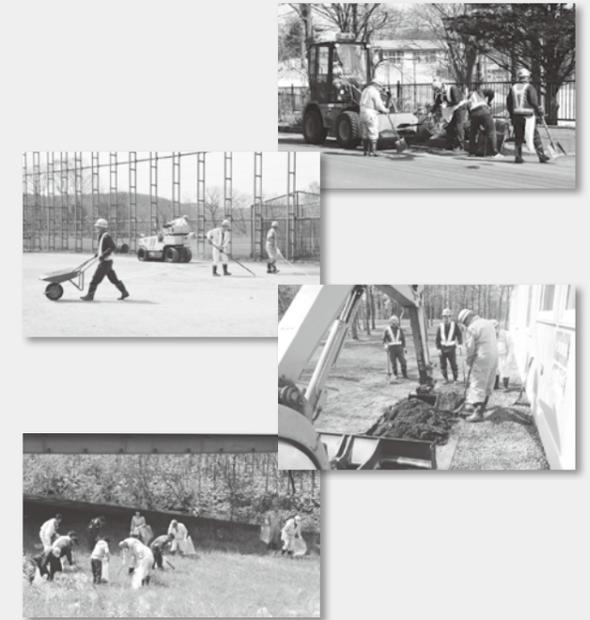
地域の役に立ちたい 社会貢献いろいろ



東星渡部建設(渡部哲夫代表取締役)の皆さんが、5月9日に奥春別小学校、5月18日に美留和小学校と川湯中学校のグラウンド整備を行いました。子どもたちのためにと毎年行っているもので、除草や転圧、傾斜の修正などを丁寧に行いました。



今井林業(西村良雄代表取締役)の皆さんが5月13日、産業廃棄物最終処分場で伐採を行いました。処分場の埋め立て地造成のため、支障となる木を伐採したもので、重機を使い丁寧に作業を行いました。



明盛建設(藤田利道代表取締役)の皆さんが4月22日、弟子屈小学校前の町道清掃を行いました。子どもたちや地域の方のためにと昨年に引き続き行ったもので、約20人が参加。土埃などを丁寧に回収したほか、柵(マンホール)の清掃も行いました。

5月12日には5人が参加して弟子屈高校のグラウンドとテニスコート整備を、5月15日には7人が参加して美留和会館敷地の土入れ替えを行いました。

5月22日には、鎧別川河川敷と道路沿いなどの清掃を行いました。社内安全大会の実施に合わせて毎年行っています。約40人が二手に分かれて、ごみを拾い集めました。



開成建設工業(小澤由明代表取締役)の皆さんが5月7日、弟子屈小学校のグラウンド整備を行いました。子どもたちの喜ぶ顔が見たいと毎年行っています。重機を使い丁寧に作業を行いました。



株今道東建設工業(今誠代表取締役)とクニオカ工業(同)の皆さんが5月15日、川湯温泉街を流れる湯川排水路の清掃を行いました。観光客を気持ちよく迎えたいと毎年行っているもので、2社合わせて15人が参加。約500メートルにわたって丁寧に作業を行いました。

また5月21・22の両日、川湯小学校と和琴小学校のグラウンド整備を2社合同で行いました。子どもたちのためにと毎年行っているもので、除草や転圧、傾斜の修正などを丁寧に行いました。

町の話



町の話

弟子屈生活PRで人口増へ

移住アドバイザー会議



今後の活動について意見交換

会議では、昨年度の移住促進活動の報告と、新年度の事業内容の説明が行われ、アドバイザーの皆さんからは移住促進と人口増加へつなげるためのさまざまな意見が出されました。

移住アドバイザーとは、本町への移住を検討されている方に対し、移住後の生活などに関する相談の対応をしていただく方で、実際に町外から移住してきた方が登録されています。北国の住宅を見学したいという方の訪問を受け入れたり、道外での移住促進イベントでの対応やPRなども行っています。

今年度、移住アドバイザーを担う須藤直武さん、渥美デイトマールさん、萩原寛暢さんの3人に登録証が手渡されました。



アドバイザーの皆さんに登録証を交付